

平成22年度名寄市の決算(概要)

「コンクリートから人へ」「地域主権」「経済成長と財政規律」などの基本理念のもとで編成された平成22年度の国の予算は、地方財政対策の総額で前年度比0.5%の減となりましたが、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税は前年度比17.3%増の大幅な伸び率となりました。

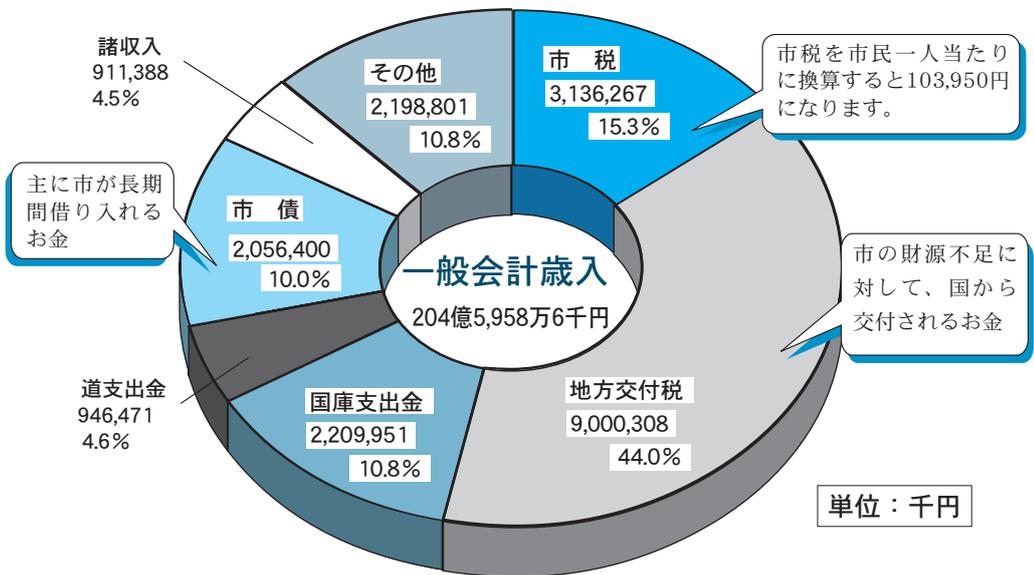
名寄市の平成22年度予算は、市長選挙実施のため骨格予算となりましたが、地元経済や雇用の安定化などを考慮し、継続事業については、できるだけ多くの事業を盛り込み予算編成し、その後の肉付け予算では、新市長のもと、政策的な予算などを計上しています。

主な事業では、風連市街地再開発事業における風連国保診療所および総合支援施設の取得、風連中学校施設等整備事業、北斗・新北斗団地建替事業、消防施設等整備事業、命のカプセル設置事業などを当初予算で盛り込み、肉付け予算では、農林水産物処理加工施設整備事業、(仮称)複合交通センター整備事業などを追加補正し、ハード・ソフト両面から多くの事業を盛り込みました。

一般会計の決算総額は、歳入額が204億5,958万6千円、歳出額が201億2,960万4千円で、歳入歳出差引3億2,998万2千円の黒字となり、翌年度へ繰り越しすべき1億1,640万2千円を差し引いた実質収支は2億1,358万円となりました。

(本文中の決算額は、重複分を差引いた決算統計ベースです。)

歳入決算額は、前年度と比べ、市税全体で36,337千円(1.2%)の増加、地方交付税においても709,789千円(8.6%)増加しましたが、国庫支出金や起債の減少により歳入全体では786,424千円(3.7%)の減少となりました。

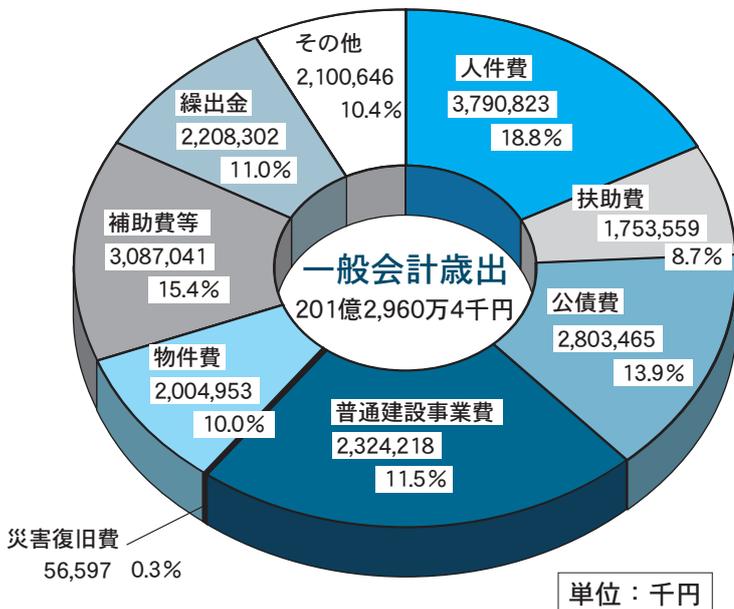


市税を市民一人当たり
に換算すると103,950円
になります。

主に市が長期
間借り入れる
お金

市の財源不足に
対して、国から
交付されるお金

歳出決算額は、前年度と比べ人件費が退職手当組合精算負担金などにより205,542千円(5.7%)の増加、扶助費は子ども手当の創設などにより283,435千円(19.3%)の増加となりましたが、普通建設事業費は大型事業の終了に伴い2,236,132千円(49.0%)大きく減少し、歳出全体では634,328千円(3.1%)の減少となりました。人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費の割合は41.4%で投資的経費は11.8%となりました。



名寄市の財政力

- 財政力指数(3年平均) 0.288(前年度0.300)悪化 ※1.0に近いほど強い。
- 経常収支比率 80.2%(前年度86.7%)改善 ※財政の弾力性を示す、経常的な支出と収入の割合
- 実質公債費比率 16.4%(前年度17.9%)改善 ※18%を超えると起債借入に北海道知事の許可が必要となり、25%を超えると起債発行が一部制限されます。

各会計決算総括表

区 分		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一 般 会 計		20,459,586千円	20,129,604千円	329,982千円
特 別 会 計	国 保 険 事 業 勘 定	3,420,496千円	3,269,245千円	151,251千円
	保 直 診 勘 定	509,486千円	509,486千円	—
	老 人 保 健 事 業	980千円	980千円	—
	介 保 険 事 業 勘 定	1,934,046千円	1,913,969千円	20,077千円
	サ ー ビ ス 事 業 ・ 名 寄	233,920千円	233,920千円	—
	サ ー ビ ス 事 業 ・ 風 連	112,837千円	112,837千円	—
	下 水 道 事 業	1,171,088千円	1,171,088千円	—
	個 別 排 水 処 理 施 設 整 備 事 業	80,577千円	80,577千円	—
	簡 易 水 道 事 業	45,414千円	45,414千円	—
	公 設 地 方 卸 売 市 場	36,563千円	36,563千円	—
	食 肉 セ ン タ ー 事 業	2,485千円	2,485千円	—
	後 期 高 齢 者 医 療	292,334千円	292,334千円	—
	計	7,840,226千円	7,668,898千円	171,328千円
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	7,820,596千円	7,729,699千円	
	水 道 事 業 会 計	596,979千円	584,751千円	

※一般会計では、ごみ処理手数料など、歳入歳出の重複と振替など3,760千円を調整しています。
 ※決算の剰余金については、国民健康保険会計では全額を平成23年度に繰り越しし、介護保険会計では、14,240千円を介護給付費準備基金及び介護従事者処遇改善臨時特例基金に積み立てし、残り5,837千円を平成23年度に繰り越します。これ以外の特別会計は一般会計との調整で収支が一致しています。
 ※企業会計の決算額に消費税は含まれません。

一般会計とは

市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など、行政運営の基本となる会計のことをいいます。

特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、利用者からいただいた保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

企業会計とは

自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。

平成22年度に行った主な事業

- ・ 風連国保診療所及び総合支援施設の取得 361,200千円
- ・ 風連中学校施設等整備事業 105,987千円
- ・ 北斗・新北斗団地建替事業 151,719千円
- ・ 消防施設等整備事業 91,976千円
- ・ 命のカプセル(救急医療情報キット)設置事業 536千円
- ・ 農林水産物処理加工施設整備事業 25,235千円
- ・ (仮称)複合交通センター整備事業 176,490千円
- ・ 庁舎バリアフリー化事業 25,053千円
- ・ 19線道路舗装新設事業 110,928千円
- ・ スキー場圧雪車購入事業 33,495千円
- ・ 大学寮室整備事業 2,993千円
- ・ 南2丁目通路切拡幅改修事業 84,752千円

主な市有財産の現在高
(平成23年3月31日現在)

土 地	4,037万1,753㎡
内 山 林	2,577万7,078㎡
建 物	30万9,595㎡
有価証券	3,871万円
債 権	1億9,760万円
基 金	47億4,372万円

名寄市の貯金と借金

貯金にあたるものとしては基金があります。平成23年5月31日現在では一般会計と特別会計合わせて50億1,735万円の現在高で、1人あたりにすると16万6,297円。また借金にあたるものが地方債残高で、病院事業などの企業会計や介護保険などの特別会計を含む全会計の総額では407億6,264万円となっており、1人あたりにすると135万1,054円となります。 ※年度末人口30,171人